

Rosario Quarterly Information



広報 ロザリオ

第138号

社会福祉法人
ロザリオの聖母会
千葉県旭市野中4017
Tel (0479) 60-0600
ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



目次

巻頭写真「聖家族園 クリスマス会」	1	てんかん協会千葉県支部海外ツアー in サイパン	9
年頭所感	2	共同募金会寄附	9
創立記念日行事	3	各種表彰者	10
院長就任～ひさしぶりの故郷で2年～	4	新任者紹介	10
障害者週間記念講演会を終えて	5	寄附者御芳名	11
連載 私の新人時代⑥		フォトギャラリー	12
「重症心身障害の方々との出会いから」	6	行事予定	14
女性浴室改修工事完了	7	職員・ボランティア募集のお知らせ	14
青年海外協力隊へ参加	8	みんなの家 バレンタインのお知らせ	14

年頭所感

理事長 桑島克子

明けましておめでとうございます。職員・ご家族の皆様にとつて平和な年でありますようお願い申し上げます。

地球を取り巻く環境は有形無形の問題が山積しています。国内を見渡せば明るいニュースもあり、今年も2人の方がノーベル賞を受賞されその経歴は不断の努力の大切さを教えてくれました。スポーツ界でも国民が歓喜に酔ったことでした。

福祉の世界では経済の先行き不透明な環境の中で平成29年度から新しい社会福祉法人の制度で運営することに、今年準備期間として大切な一年です。

端的にいえば会計の明朗化と地域貢献です。運営に必要なと認められる財産・資金を越えたものは地域貢献に向けられる事が義務付けられています。右往左往して地域貢献たるものを捜さなくとも、現在の事業の中で制度上対応が難しい支援や、より上質の支援へ施設・事業所の枠を越え職員が知恵を出し合い協力すれば、住み易い

地域に向かうでしょう。

昨年はロザリオの聖母会始つて以来の問題が2件ありました。問題が深刻にならないだけで以前にも同様なことはあったかも知れません。今回はなぜ問題が大きくなったのか、途中で気づく機会もあつたのにと反省しています。気軽に意見を出し合える関係がなかったのも要因だと思料します。もう一度 聖母会の歴史を振り返り先人達の思いに触れる事で社会福祉に携わる喜びの源泉を発見して下さい。

本会は、昭和26年社会福祉事業法の制定により、翌年「社会福祉法人ロザリオの元后会」を創設し昭和6年に始まりを持つナザレトハウスを、海上療養所として開設しました。昭和63年重症心身障害児(者)施設「聖母療育園」の開設に次ぎ、平成27年に2事業を加え25の事業を展開しています。更に地域活性化のため昨年度から準備していたM a d o o k aの事業も始まりました。この事業は

障害者福祉の施策と直接的に結びついてはいませんが、自由に過ごせる場や何気ない話で醸し出される平和な心を目指しています。

沢山の種別の障害支援事業を展開しているのは、どのような障害にももれなく対応して共に歩みたいとの前理事長の夢がありました。

創立者である小原ケイを中心に女性達はカトリックの信仰を日常生活で体現していました。聖書の中のキリストの言葉「あなた方の隣人の最も小さな一人にしてくれたことは私にしてくれたことと同じである」をそのまま生きていました。墓標には「われは、主のほしたためなり」と生前に選んだ言葉が標されています。はしためは下女を意味し己の意思で動くのではなく、他人の意思に仕える生活が日常です。人々を通して神に仕える半生でした。「上になりたい者は全てに仕える人になりなさい」との聖書の言葉に忠実でした。

先人達の生き方は職員・利用者に平和と協力を喚起したのはその頃の写真や記録を通して窺い知れます。必要な時に援助があり、どうにか乗り越え薄氷を踏む思いをされたことも度々でしたが、祈りと協力で平成にバトンタッチされ

事業拡大の時代になりました。東日本大震災の年に理事長交代があり、先人との直接の縁のある本部役員はいなくなりました。職員はみな利用者に関心から対応していましたが時代とともに価値観の変化は明白で理念の真髄を伝える困難さに立ち往生することも度々です。

それでも利用者との関わりを経過で得る喜びを少しずつ感じ障害者支援を通してどんな人生にも意味があり必要とされていることを知ることが出来てきています。

最近、少子化と景気のため残念なことですが、福祉の仕事に就く人が少なくなっています。特に直接処遇は体力的に大変さに比し給与が少ないと思われています。福祉事業は殆ど法律で収入が決まっています。それでも一般企業に比べ景気に直接左右されず、どの仕事にも福祉本来の個性と工夫による達成感があります。同僚と競争するより協力することが求められていますので、気持ち良く仕事ができます。人生の一期だけでも経験される事をお願いとお勧めいたします。

世界の社会・政治・経済の流れをみて、将来に不安を感じる人は

大勢います。各地で戦争・テロが多発しています。戦争を体験していない大多数の職員の皆様は戦争被害の現実を目を向け勝敗に拘らず弱者が一番被害を受ける事を忘れないで下さい。

全国重症心身障害児(者)を守

創立記念日行事

法人本部事務局

秋晴れのさわやかな気候の中、10月7日(水)13時から本会の小原ケイ記念聖堂に於いて、創立記念日行事が執り行われました。

第1部は、職員の多年にわたる功績を称えて永年勤続表彰が行われました。本年度の受賞者は、勤続20年が7名、10年が13名の合計20名、表彰式では本会理事長桑島からの祝辞に続き、受賞者に表彰状と記念品が授与され、その後受賞者代表からの謝辞が述べられ、式は終了しました。

第2部は、カトリック多摩教会の主任司祭である晴佐久昌英神父による「みんな救われるー真の普遍教(カトリック)とは」と題した講演会でした。晴佐久神父は上

る会の標語「この子らを世の光に」を全ての利用者に敷衍したいと思えます。日頃、光を受けている事を実感している職員皆さんと新制度下で自由に意見を出し合い、協力し前年より少しでも良い環境を作って行こうと夢みています。どうぞよろしくお願いいたします。

智大大学神学部、東京カトリック学校を卒業後、1987年司祭叙階、2009年からカトリック多摩教会に赴任。7年前から早稲田大学理工学部で宗教に関する非常勤講師を務められています。また、説教集、エッセイ集や詩集など多くの著作があります。ご講演の骨子を以下に紹介致します。

『本日は創立記念講演会の講師としてお招き頂きありがとうございます。ロザリオの聖母会は、日本のカトリック界、特に東京教区に於いては一種の聖地、レジエンドとして神父や修道者の間では非常に有名であります。戸塚文卿神父が創設し、小原ケイさん達が継

承した本会を訪れる事がかねてからの夢であり、こうして本日講演できることは大変光栄であります。さて、神が人間に話しかけ働きかける時には、必ず他の人間を通して、用いて語りかけます。本日、私がこの場所で皆さんに語りかけるのも、神が私を通して働かれておられる事を信じています。弱く、臆病で、狡猾で、不安に苛まれ、性格が悪い「人間」と言う存在を通して、神が働くことをカトリック教会は信じております。

カトリック教会は全世界で信徒数約12億人、私のような司祭は40万人程おります。現在の第266代ローマ教皇フランシスコが2013年に教皇に選出された際、ある枢機卿から「貧しい人のことを忘れないで下さい」と言われたことを契機に、清貧をモットーとしていた聖人アッシジのフランシスコの名前を教皇名に史上初めて選んだそうです。フランシスコ教皇は教皇宮殿には住まずに、今でもヴァチカン内の質素な宿泊設備で起居しているようです。まさに清貧を体現している方です。ご自分のバースデーパーティーにはサンピエトロ広場のホームレスを招き、その際の要望

により同広場にホームレス用のシャワー設備を設置したそうです。最近の教皇命令では、「全世界の各教会は難民を必ず一世帯受け入れて下さい」と要望され、「教会は門が開かれたもてなしの家であってほしい。閉鎖的な教会になつてはいけません。そのような教会は博物館と言える」と指示されました。これは一つのチャレンジです。

旧約聖書の創世記2章18節で神は「人が独りでいるのは良くない」と仰り、新約聖書のマルコによる福音書10章9節でイエス自身が「神が結び合わせて下さったものを、人は離してはならない」、また、マタイによる福音書25章40節では「私の兄弟であるこの小さな者の一人にしたのは、私にしてくれたことなのである」と仰っています。

教会は一種の家族であり、人種



や宗教や信条を超えて目の前の苦しむ人を家族と考えて、他者と繋がることに意味があります。

人と人が係ることにより、人は人となります。人間同士の関係性の中に人の生きる意味があります。人を助けることにより、助けた本人が救われ、救われていることに気付きます。しかし、人は恐れにより臆病になり人と触れ合うことを拒否する事もあります。

天国への扉の鍵は自分ではないもう一人の誰かが持っているのです。その扉は自分で開くことができせん。人と係わり、関係性を持つことにより新しい何かが始まります。

仕事の中で、様々な人と人の係わりがあり、時にはハードで、辛く苦しいことが多々あることと推察します。

職員の皆さん一人ひとりも、神に選ばれて、必然的に選択の余地もなくここで働いていらっしやると信じております。カトリック系ミッション系の福祉施設の貴重な一員として、小さき者への奉仕を通じて、頑張っ頂きたいと思えます。

最後に、早稲田大学での講義は大学当局からの「本学部の卒業生

から地下鉄サリン事件の実行犯が出たことを猛省している。オウム真理教のようなカルト宗教や新興宗教に学生が洗脳されないように、キリスト教や仏教、イスラム教などの伝統宗教や普遍主義について講義をしてカルト宗教に対する免疫をつけて欲しい」との要請で始まりました。最初の講義で学生に話すことは、

「科学の本質は、ニュートン力学からインシュタインへ変遷したように、より普遍的なものを求めるというベクトルにあります。宗教は霊的な事を、科学は物質的な事を、と言うことで対象に差異があります。両者は普遍的なものを探求するという根本の姿勢は同じであります。カトリックは究極の普遍主義として、最も普遍的なものを神と定義しております。」

水と油の様に相容れないものと捉えがちな、宗教と科学の根本のベクトルが普遍性と言う共通点の有するとは新たな発見でありました。晴佐久神父様、お忙しいところありがとうございます。



院長就任

くひさしぶりの故郷で2年

海上寮療養所 院長 加瀬光一

35年ぶりに故郷に戻ってから2年が経ちましたが、この数か月は、自分の人生の中でかなり濃いめの数か月でした。突然院長になってしまい、どう動いたらよいものかと途方に暮れておりましたが、周囲の方々のご助力で、何とか無難に日々を過ごせています。将来的には、管理者としての動き方もみこめていけそうな気もしています。

私は単科の精神病院を3カ所経験しています。1つめは水戸市の近くにある栗田病院。300床程度の病院でしたが、当時の単科としては内科の強さが売り物でした。私は筑波大出身なのですが、当時の精神科の医局では、新人2年目はまるまる内科のローテートでした。そこから帰ったばかりの若い医者たちで病棟をみておりましたので、看護室を半分に分けて、ベッドを置き、当院という観察室のように使っておりました。医療にお金をかけられた時代で、I V H（中心静脈栄養法）などもちよくちよく立てていました。

2つめは松沢病院で、日本を代

表する精神病院ですが、私にとっでは、医者仲間と遅い青春時代を過ごした、最も懐かしく、愛しい病院です。しかし、その高名さのわりに、医局は無頼漢の集まりというかなんというか、患者も警察のお世話になる方たちが多く、お世辞にも品が良い病院ではありませんでした（まあ、それが良いところでもあったんですけど）。それ以外にもクリニック時代に東京都の鑑定のバイトなどいろいろな単科の病院をみてきました。

さて3つめが当海上寮療養所ですが、今までみてきた単科の精神病院にはない独特な雰囲気を感じます。うまきは表現できませんが、ゆったりしていて、飾りがなく、温かく、いい加減な感じ。キリスト教系だからなのか、あるいは海が近いせいなのか、かなり独特な感じだと思います。この感じ、自分としてはかなり好きです。この雰囲気を残しながら、新しい時代に対応できれば最高と考えております。そんな私ではございますが、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

障害者週間記念講演会を終えて

佐原聖家族園 園長 高木美枝子

当法人では、様々な福祉事業を展開する中、毎年12月の障害者週間に合わせて、近年の時流にちなんだテーマで講演会等を企画し、地域に開かれた行事として東総文会館を会場に開催して参りました。今年は、東京都成人発達障害の冠地氏を講師としてお招きし、「発達障害の理解を深める〜発達障害の人の可能性を広げよう〜」をテーマに講演会を開催致しました。

事前打合せの際、冠地氏より「講演の最後に質疑応答の時間を設けるのではなく、最初に参加者からどんな話が聞きたいのか質問を受け、それに応える形で話したい。講演を聴きに来て下さった方が、後でこんなことが聞きたかったと後悔して帰って欲しくない。」と、講演への意気込みが伝わってきました。

講演中は、ステージを降りて会場内をエネルギーッシュに移動しながら、参加者に挙手を求め、語り

かけながらの会場参加型の講演会となりました。発達障害当事者の立場から、障害特性と社会環境の理解の低さによる生き辛さや自らが経験したいじめ・不登校・引きこもりなどの困難を乗り越えてきたこと。自分の想いや考えを伝えることが、躊躇されやすい日本の社会の中で、良好なコミュニケーションの積み重ね（経験）によって獲得できるコミュニケーション能力であること。発達障害の方は周りの人との感覚の違いなどから成功体験を得る機会が少なく、一



人のほうが気楽で、自分の世界に閉じこもりがちとなり、どんどんと経験の機会を失い、「発達機会喪失障害」になっていってしまったこと。相手とうまくコミュニケーションを取るためには「スキル」ではなく経験の場が大切であること。冠地氏ご自身が小学校の頃からいじめに会い不登校、引きこもり等々を経て、自分には何か原因があるのでは？と精神科を受診し、34歳にしてアスペルガー症候群とADHDの複合型発達障害の診断を受け、自分を悩ませていた原因（障害）を知って安心したと同時に、診断だけでは生き辛さは解決せず、自力で当事者会を立ち上げ、ワークショップを全国各地で開催し、コミュニケーションの経験の場を提供し続けていること。対人関係で悩んでいる発達障害当事者だからこそ言える生の声を伺うことができ、沢山の驚きと発見がありました。

最後には、当事者会イトコサガシが行っているワークショップの雰囲気を感じ取り込んで下さり、大きなリアクションとともに「試した時点で大成功。」と全身全霊で私たちに試行錯誤のコミュニケーション

ションの必要性を訴え、良好なコミュニケーションを身につけるための経験する機会の大切さをほんの少し体験することができました。

これからも、当事者だからこそ言えることを全国各地に発信し、当事者・家族、そして支援者に伝えていって欲しいと思います。

最後になりますが、当講演会に、当事者及びご家族、福祉・教育・行政などの多くの関係者にご参加を戴き、ありがとうございました。



連載 私の新人時代 ⑥

「重症心身障害の方々との出会いから」

聖母通園センター 所長 高安きみ江

私は昭和63年、まだ聖母療育園

の建物が建つ前に前理事長の細淵さんと聖母療育園初代婦長（現在は師長と呼ぶ）海上さんに声をかけて頂き、昔の海上寮の事務所奥にある一室に招かれました。そこで聖母療育園の設計図を見せて頂き、これから向かい側に重症心身障害の方の施設ができるので、ぜひ来てほしいとのありがたいお話がありました。その前に、旭中央病院のNICUに勤務していたこともあり、重症心身障害の方々について、深い知識はなくても不安もなく、むしろ病院でのキユアよりケアをしたかと思っていましたので、すぐに就職を決断することができました。漫談家のきみまるさんではありませんが、あれから30年…いえ約28年、私は成長したのでしょうか？ 身体は充分すぎるほど育ちましたが、心・精神面ではまだまだ未熟かなと思っておりまます。そして重症心身障害の方々との出会いから、私の第2の人生

がスタートしました。

同年3月の聖母療育園準備段階から通わせて頂き、今みんなの家の中庭あたりに建っていた家を拠点に、草取り・必要なものの準備・更に入所予定の方々一人一人の家庭訪問を行いました。家庭訪問ではご家族の方と入所予定のご本人にお会いし、返してくださいだった笑顔にほっとしたと同時に皆様がとても愛おしく感じたのを覚えています。

7月ようやく聖母療育園が完成し落成式が行われ、その後数名ずつの入所受け入れが始まりました。その頃は毎日の活動を楽しくするにはどうしたらよいか考え、初めは海まで散歩に出かけたり、夜花火大会をしたり、職員みんなでいろいろなこと考えながら様々な事に取り組みました。

その後入所がほぼ完了し部屋別担当制となり、私は比較的意思疎通の取りやすい男性部屋（10号室）を受け持つことになりました

た。ただ殆どの方が言語的コミュニケーションは難しいため、毎日意思疎通を図るための方法を試行錯誤し、関係作りをしていきました。またその方のレベルに合わせて、何かを少しでもできる喜びを感じる工夫をしながら、活動や日常生活の時間を共に過ごしていきま

した。日々の活動では個々に合わせた活動を行い、不随運動のある方でも知覚レベルの高い方など業者さんと協力してタッチセンサーを作り、パソコンで一文字ずつ言葉を

選びながら詩を作ったり、ある方は手が使えるので輪投げゲームを楽しんだり、手伝いで喜びを感じる方には一緒にタオルの片づけをして頂いたり皆さん満足げに喜びの笑顔で答えてくださいました。またひらがなが少し読める方には文字版の指さしで意思の伝達を図る



聖母療育園職員旅行

工夫をし、その方がその場の職員に話が複雑で通じない場合、高安を呼べとの指さしで通訳としてよく呼ばれたことを思い出します。またある時は男性部屋なので、釣堀に向き（皆さん車椅子で移動が難しい場面もありましたが）魚

が釣れた時の竿が引かれる感覚を味わって頂いたり、ご家族と一緒にカラオケボックスの大部屋で歌を楽しみ、雰囲気を感じたりと様々なことをしてきました。その時の利用者さんは皆良い表情だったように思います。その頃は毎日利用者・職員で心の底から笑える日が多く、充実した毎日を

過ごしていました。また大変嬉しいことに自力で移動できる方で、私が出勤して自動ドアを開け病棟に入ると同時に、小走りに走り寄り握手してくれた事などがいつも

私の励みになり、喜びや勇氣にもなっていました。今ではとても懐かしい思い出です。重心の方々はとても素直で、私たちのした事を笑顔や症状、身体の緊張などでまっすぐ答えてくれます。ですから私達職員の普段の関わりが鏡をみているように解ります。本当にたくさんの事を学ばせて頂き私達を育ててくださり、とても感謝しています。

また重症心身障害児者の守る会で療育キャンプというのが毎年あり、様々な所に同行させて頂きました。キャンプという名の一泊旅行です。重心の方々には座席に座る事ができない方や座れても長時間難しい方が多い為、サロンバスを工夫し、後ろの開いたスペースにビールケースを逆さに配置し、その上に板を引き、更にセラピーマットを敷き、布のマルチカバーを敷きクッションを活用し、臥床したまま行けるようにして出かけました。車椅子はバスの床下の荷物を入れるスペースに折りたたみ、ドライブインなどに降りる度、一台一台組み立てて移動しながら出かけました。またお風呂では私たちがスタッフの水着を着て、

県内参加者全員の入浴介助（今ではとても無理：なぜなら水着を着る勇氣がありません）をしたりもしました。翌朝は同行のドクターと、各部屋を回り利用者さんの状態確認をしたりしました。中でも印象深いキャンプは、房州の三日月ホテルで台風の直撃に遭い、1階売店の大窓が割れ、海水が流れ込み（まるでタイタニックのよう）に海水のにおいや水の流れ込む音を聞きながら）利用者さんを急いで抱え上の階に避難した事や、また別のキャンプで、お母様と食事をしていた利用者さんが、緊張でレンゲ（スプーン）を噛み砕き2cm位の三角の破片を飲み込んでしまったとの事で、近くの亀田総合病院に付き添った事などハラハラどきどきしたキャンプもありました。ですが療育キャンプは楽しい思い出もたくさんあり、様々な出会いや交流もあり懐かしい思い出です。

その後平成14年通園センターに移り、また更に多くのことをご家族の方々・利用者さんの方々から学ばせて頂いています。特に行事や活動の中で様々な工夫をし、利用者さん、ご家族、スタッフ皆で

協力し、共に時間を過ごし楽しみながら生きています。

通園センターでは利用者さん、ご家族の皆さんの希望や思いを大切にしたいとの思いで日々関わっているつもりですが、度重なる国からの法改定や様々な条件の変化に伴う改定、更に加算条件の変化等があり、厳しい現状もあります。ですが幸いにも、とても頼もしくまた心強いスタッフに恵まれておりますので、これからも関係者利用者さん皆で、共にお腹をかかえて笑いあう事ができる通園センターでありたいと思っています。



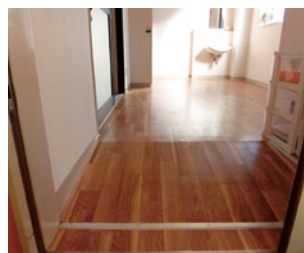
聖母通園センタークリスマス会のキャンドルサービス

女性浴室改修工事完了

佐原聖家族園 係長 飯島広司

女性脱衣室および個別浴室の改修工事を行いました。出入り口の段差を解消したことや目隠しとして取り付けられていた壁を取り除くことで車椅子の出入りが容易になり、限られたスペースが広々と感じられるようになりました。個別浴においては、デザインを一新し高級感を感じられるくつろぎの場になりました。

使いやすい、心地良い浴室に改修できたことは利用者職員ともに大変嬉しいことでした。



青年海外協力隊へ参加

聖母療育園 理学療法士 勝股歩美

Hola! ¿Cómo está usted?

(スペイン語で「こんにちは！お元気ですか?」)

ご無沙汰しております。私は聖母療育園リハビリ科所属の理学療法士勝股歩美です。

この度、2015年10月8日〜12月16日まで長野県の青年海外協力隊駒ヶ根訓練所でスペイン語と派遣に向けての訓練を受け、無事卒業し、来年1月12日より中米エルサルバドル国の障害児のリハビリセンターに青年海外協力隊として、2年間派遣されることが決まりました。

私は高校生の頃から国際協力に興味があり、専門学校時代、理学療法士の職種で青年海外協力隊に応募することができるということを知ってから、協力隊を目指していました。

今回の応募までには、スタディーツアーやNGOのツアーに参加していましたが、心を動かしたのは2011年3月11日聖母療育園が被害を受けた際に多くの

方々からご支援いただいたこと、

飯岡の土砂整備ボランティアに行った際も全国各地から多くの人が来て下さっていたこと、そして同年グローバルフェスタというイベントにて、とても貧しい国からも多くの支援・声援をいただいているということを知り、私も何かできることで何か恩返しをしたいという気持ちになったことです。

岩手県の仮設住宅にマッサージボランティアに行ったり、新聞やテレビでも状況は知っていましたが、人々の温かさ

と苦労は報道されているもののみでは感じ取れないものがありました。実際に行ってみるとその状況を見て体験しなければわからないことが多くあるように思います。私はその場所、人々と触れ合っただけで、共有し、考えて行動したいと考えます。

今回の派遣については、JICAの現職参加制度という、聖母療育園に所属しながら青年海外協力隊に参加するという制度を使わせ

ていただきました。この制度は、

JICAが推奨している制度で、休職などの形で所属先に身分を残したまま参加しやすいよう、人件費補てん制度が設けられています。人件費補てんとは、所属先が、青年海外協力隊の派遣期間中も、

従前の給与等の全部又は一部を支払う場合においては、JICAは所属先からの申請に基づいて査定し、青年海外協力隊のために使用されることを条件に補てんが行われます。

今回、この制度を検討していただき、理解承諾をしてくださりました理事長並びに関係者の皆様には本当に感謝しております。

また、この協力隊に参加するにあたり、厳しく意見を伝えて下さった方々、応援して下さった方々、すべてのことが今の自分の背中を押してくれています。この

場をお借りして、感謝申し上げます。本当に



12月18日 旭市長を表敬訪問しました

ありがとうございました。

自分に何ができるのか。プレッシャーや不安も多く感じますが、まずは自分にできることを精いっぱい行っていけます。そして帰ってきたときに少し成長した姿を見せられるよう、精進して参ります。それでは行ってきます。

【青年海外協力隊】

自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたいと望む青年を派遣するJICAの事業で、2003年からODDの一環として実施されています。派遣期間は原則として2年間(1ヶ月から参加できる短期ボランティア制度もあります)。協力分野は、農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツの7部門、職種も多岐にわたります。応募資格は20歳から39歳までの日本国籍を持つ者。募集は毎年2回、春と秋に行なっています。1990年には、日本国内で専門的な技術や指導経験をもつ40歳以上の技術者が参加する「シニア海外ボランティア」も始まっています。

(AGUJIP:デジタル用語辞典より一部を抜粋)

てんかん協会千葉県支部海外ツアーINサイパン

聖家族園 副主任 飯島優一

今回、「てんかん協会千葉県支部海外ツアーINサイパン」へ、平成6年より聖家族園に入所されている永島義則さんの付添いで参加させていただきました。永島さんも私自身も初めての海外旅行ということもあり、出国前までは、期待半分不安半分でしたが協会のボランティアスタッフの方やご家族に支えられながら、4日間を過ごすことができました。旅行中、施設では見られないような表情を沢山されており、色々な物に興味関心をもつていらつしやいました。



特に印象に残ったのは最終日に参加した潜水艦ツアーです。暗いところや狭いところが苦手なので潜水艦に乗り込むことができないか心配でしたが、目立った問題もなくボートから潜水艦に元気に飛び降り、ハッチのはしごを頑張って降りていました。初めて見る海底の様子に目を丸くして、魚群が通り過ぎると顔にたくさんのシワを作って笑っている永島さんに私も自然とつられて笑顔になっていました。なにより現地スタッフの方の心暖かな対応にも感動致しました。言葉はあまり通じませんが、親切なエスコートで「ブラザー？」と私に声を掛けてくれた方もおり、「外から見たら私と永島さんは兄弟にみえていたのかな？」と思わずクスツとなってしまう場面もありました。

協会の皆様を始め、色々な方々にたくさんお世話になりましたが、私達には一生心に残る思い出となりました。そして今回永島さんに関わつ

てくださった方々を見て、改めて私達の施設はご家族より「宝物」をお預かりしているのだと感じました。

貴重な体験をさせていただいて、本当に感謝しております。今後もこのような機会があればまた参加させていただきたく思うのと同時に、別の形でも他の利用者さんと同じ体験をさせてあげたいという気持ちになりました。



共同募金会寄附

第26回ロザリオ福祉まつり事務局

第26回ロザリオ福祉まつりの目的の一つに挙げていた共同募金寄附について、当日会場に設置した募金箱にお寄せ下さった善意に加えて、法人、施設・事業所のバザー収益から拠出した資金を合わせた20万円を平成27年11月12日、共同募金会旭市会に直接お渡ししました。今回で4回目となります。

ロザリオの聖母会の施設・事業所には共同募金会から毎年たくさんのお配分金を頂戴し、車両や設備の充実に活用させて頂いております。社会から我々に寄せられた善意に、少しではありますが応えたいという思いからこのような形を取らせて頂きました。

この提案を快くご理解下さった後援会やロザリオ福祉まつり実行委員会、関係の皆様にご報告と御礼を申し上げます。





ご協力ありがとうございました。

- ◆ 旭市立飯岡中学校 様
- ◆ N T T 東日本 銚子営業支店 様

平成27年度ボランティア感謝式の受賞者に、賞状と、ささやかな記念品をおくらせていただきました。受賞者は次の方々です。

ボランティア感謝式受賞者



- 【勤続10年】
- 伊平 辻 飯 及 林
 - 藤野 内 島 川
 - 文 秀 沙 弘 昌 弘
 - 洋 樹 里 美 宏 志

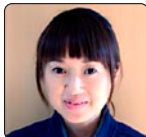
- 【勤続20年】
- 池 飯 林 高 宮 和 神
 - 田 島 岡 内 田 崎
 - 広 静 美 育 直
 - 和 司 子 恵 子 文 満



- 田 林 渡 船 林 石 櫻
- 向 邊 木 田 井
- 恵 康 菜 拓 美 真 和
- 子 大 摘 哉 津 由 美 美

ロザリオの聖母会平成27年度永年勤続表彰

ナザレの家かとり



生活支援員

高 安 弘 美
11月からナザレの家生活支援員として勤務されています。いつも笑顔で楽しく利用者の方達と過ごされています。今後より一層の活躍に期待しています。

ロザリオ発達支援センターふたばクラブ



指導員

平 野 仁 美
縁あって再びロザリオの聖母会で勤務させていただきましたことになりました。初心を忘れず、子供たちと楽しく過ごしたいと思っています。

聖母通園センター



看護師

加 賀 恵 子
10月15日から通園センターの常勤看護師として就職しました加賀恵子です。ご覧の通り、美人で仕事への取り組みも積極的です。また利用者さんへの対応もやさしい方です。未永く通園で働いてほしい看護師さんです。

聖母療育園



准看護師

林 君 子
12月から勤務されている林さんは、以前聖母で働かれた事があり、懐かしい思いで利用者さんと接しています。正看を目指し頑張っています。

新任者紹介

横 田 信 一 郎

全国社会福祉協議会
会長表彰

第26回ロザリオ福祉まつり 寄附者御芳名

花沢商店様 (伊藤製麺所様) 宮上勝代様 石上勝代様 荒井のり子様 吉田賢二郎様 熱田典子様 佐瀬耕樹様 栗原正道様 越川一幸様 本間洋子様 岩井光子様 旭井裕嗣様 渡邊茂男様 加瀬隆子様 伊藤朝子様 富田修様 日暮由美子様 田中美佐子様 高橋理容店様 安藤裕美様 安藤万里様 石井卓磨様 伊藤友綺様 梅室知子様 大胡雅己様 大木喜恵様 太田綾様 鎌方将充様 齋藤いずみ様

塚本瑞紀様 土屋浩樹様 林恵子様 林勇佑様 日向沙織様 宮崎達也様 吉川礼乃様 吉田達夫様 手崎珠希様 床枝恭佑様 海上中学校様 藤原直紀様 古川喜美子様 兵頭恵子様 角田洋子様 山田キヨ子様 加瀬文江様 石毛義夫様 齋藤テルエ様 工藤玲子様 石橋恵子様 村田幸子様 宮田妙子様 小林光江様 小林とめ子様 常世多恵子様 田中弘二様 名雪栄子様 鶴澤律子様 久保田律子様

小林博子様 小関喜市様 大関重子様 堀越久様 鎌形久様 山越広信様 斉藤洋様 尾形佳美様 聖家族園家族会様 (株)小山田商店様 (株)ヒロク商店様 (株)房給様 コカ・コーライーストジャパン(株) 山武支店支店長小林明雄様 大蔵物産(株) 代表取締役倉波智善様 聖家族作業所家族会一同様 宮野静子様 藤本洋子様 新川美男様 高橋静江様 林祥子様 石毛幸子様 渡辺文子様 佐藤敏雄様 大八木久予様 高安肇様 志村艶子様 鎌形京子様 ビューティー・か道様 佐藤しめ様

椎名キヨ子様 遠藤せい子様 宮内治子様 菅谷シヅ子様 林紀夫様 金子節子様 吉田まさ子様 浦尻和子様 遠藤貴美子様 平野光子様 小池京子様 内野康秀様 石井孔清様 片岡はつえ様 柴田ミサ子様 津田真也様 加藤伸雄様 長嶋とし子様 新行内良治様 伊藤徳子様 伊藤多美子様 片野よし様 石黒耕志様 山川裕志様 菅谷千恵子様 高野真子様 平山義蔵様 小関洋子様 森とみ子様 西山利文様 伊藤信勝様 多田幸広様 内田幸子様 諏訪正子様

田辺弘子様 武井奎一様 聖心女子学院五月会様 田本明様 丸山智靖様 飯島英明様 島山アイ子様 黒崎弘康様 藤本みどり様 まつざわコーヒー様 秋山世以子様 カトリック西千葉教会様 聖心女子学院もゆる会様 大和田義郎様

寄附者御芳名 (平成27年10月14日～12月30日)

高塚みどり様 ほほえみ細野みさ子様 高橋里美様 大原英太郎様 木志根茂行様 佐藤秀人様 下河邊博様 林義久様 高木希様 土方勝由様 青柳義見様 前田孝幸様 井橋静代様 新行内良治様 久保木英雄様

小久保晶様 鶴岡一枝様 宮澤均様 (株)国際エーアールジー 代表取締役社長 大山吉男様 市造遠藤修様 山下知子様 聖心女子学院生徒一同様 加藤健二様 木村潔様 小嶋昭三様 八千代台東南地区民生委員 児童委員協議会様

芦田裕光様 香取浩和様 宮崎知己様 木内智子様 加瀬節久様 島田尚美様 林由理様 佐久間登代子様 中沢豊子様 伊藤美加様 篠原きよ子様 ヤマサ醤油(株) ヒゲタ醤油(株) ハーバースメテイクス(株) 様

Photo Gallery

★聖ヨセフつどいの家★



みんなで乾杯!!!



音楽に合わせてリトミック

★デイサービスセンター・ローザ★



【ゆく年くる年】クリスマス&お正月飾りを作り皆で楽しみました!!!!

★マリアデイサービス★



クリスマス



楽しんでます。

★みんなの家★

今が旬の
五郎丸ボーイス!!!



昭和のマッチ&スノーカー
ぶる~すで大盛り上がり

トナカイです。
トナカイ?
トナカイ?



**クリスマスソングを
たのしんでいます。**



★聖母療育園★

**ケーキ作り
を頑張りました。**



ながよん



★聖家族作業所★

**職員による、サンタクロースと
トナカイ登場**



**プレゼント
ど〜ぞ**



**作業所
忘年会
イエイイ!!**



★聖家族園★

**音楽クラスの演奏で
盛り上がってます!**



**サンタさん!
プレゼント
ありがとう!**



**クリスマスケーキ
食べまーす (*^^*)**



**サンタさんから
クリスマスプレゼント
もらっただよ**



★佐原聖家族園★

鹿嶋セントラルホテルでクリスマス会!



お知らせ

Happy Valentine's Day!



生チョコタルト ¥1,000



ロールケーキ ¥900
箱入り ¥1,000



ガトーショコラ ¥1,500

バレンタインの季節がやってきました。
今年もみんなの家の
ロールケーキ・チョコタルト
ガトーショコラのご注文を
心よりお待ちしております

みんなの家 TEL 0479-60-0607

行事予定

28. 1. 4	新年あいさつ会
5	法人運営会議
6	経営会議、総合安全対策委員会
8	クリーンデー
12	法人運営会議、研修会議、研修委員会
13	経営会議
19	法人運営会議、入職1年目研修 (Aグループ)
20	施設・事業所長会議、経営会議、地域生活支援会議
21	通所事業所連絡会議
26	法人運営会議、入職1年目研修 (Bグループ)
27	理事会
2. 2	法人運営会議、入職2年目研修 (Aグループ)
3	経営会議、総合安全対策委員会
9	法人運営会議、入職2年目研修 (Bグループ)
10	経営会議
16	法人運営会議、入職3年目研修 (Aグループ)
17	施設・事業所長会議、管理職研修、経営会議、地域生活支援会議
23	法人運営会議、入職3年目研修 (Bグループ)
25	管理職基礎研修
3. 1	法人運営会議、入職4年目研修
2	経営会議、総合安全対策委員会
5	合同研修会 (研究発表会)
8	法人運営会議、中間管理職全体研修、研修会議、研修委員会
9	経営会議
11	クリーンデー
15	法人運営会議、入職5年目研修
16	施設・事業所長会議、経営会議、地域生活支援会議
17	通所事業所連絡会議
19	後援会役員会
22	法人運営会議
23	理事会、評議員会
24	管理職基礎研修
28~30	就職内定者研
29	法人運営会議
4. 1	平成28年度辞令交付式、幹部職員顔合わせ会

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイトを
(<http://www.rosario.jp>)
に掲載しています。

◆ 随時面接を行っておりますので、
本部総務課までご連絡ください。
TEL 0479(60)0600
(担当 採用係)

職員募集のお知らせ

精神科、障害児者医療に携わる
看護師を募集しています。
TEL 0479(60)0600
(担当 仲條)

ボランティア募集のお知らせ
ロザリオの聖母会では、施設や
利用者のために常時ボランティア
のご協力をお願いしています。
お願いのできる方は是非、ご連
絡ください。ご協力をお願いしま
す。

問い合わせ
TEL 0479(60)0600
(担当 仲條)

医療 保護 施設	海上療養所	訪問看護ステーション	ソノフレイ	就労継続支援B型事業所	ワークセンター	医療型障害児入所施設・療養介護事業所	聖母療育園	生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス(重点)	聖母通園センター	児童発達支援事業	ロザリオ発達支援センター	児童発達支援事業	旭市こども発達センター	障害者支援施設	聖マリア	障害者支援施設	聖家族	障がい者の就労促進事業所	みんなの家	生活介護事業所	聖家族作業所	共同生活援助事業所	ナザレの家あさひ	高齢者支援事業	ロザリオ高齢者支援センター	ロザリオ訪問介護事業所	通所介護・介護予防通所事業所	デイサービスセンター・ローザ	障害者支援施設	佐原聖家族園	生活介護・放課後等デイサービス	聖ヨセフつどいの家	共同生活援助事業所	ナザレの家かとり	地域生活支援センター	友の会	中核地域生活支援センター	障害者就業・生活支援センター	海匠ネットワーク	障害者就業・生活支援センター	東総就業センター	香取市相談支援事業	香取障害者支援センター	障害者就業・生活支援センター	香取就業センター	障害者相談支援事業
----------	-------	------------	-------	-------------	---------	--------------------	-------	----------------------------	----------	----------	--------------	----------	-------------	---------	------	---------	-----	--------------	-------	---------	--------	-----------	----------	---------	---------------	-------------	----------------	----------------	---------	--------	-----------------	-----------	-----------	----------	------------	-----	--------------	----------------	----------	----------------	----------	-----------	-------------	----------------	----------	-----------